

気候の危機：2020年は、記録史上最も暑い年となった



気候危機は2020年も衰えることなく続き、世界の気温は観測史上で最も高くなり、北極では憂慮すべき暑さと記録的な山火事が発生し、大西洋では記録的な29回の熱帯性暴風雨が発生した。

コロナウイルスのロックダウンにより化石燃料の燃焼が7%減少したにもかかわらず、熱を吸収する二酸化炭素は大気中に蓄積され続け、こちらも過去最高を記録した。2020年の地球全体の平均表面温度は、産業革命前の1850-1900年に比べて1.25°C上昇し、最悪の影響を回避するために世界各国が設定した1.5°Cの目標値に危険なほど近づいている。

記事参照：[Climate crisis: 2020 was joint hottest year ever recorded | Climate change | The Guardian](#) (2021.1.8/the Guardian)



ラップランド地方議会が北極圏鉄道を拒否



フィンランド最北のラップランド地方議会は、2040年までの長期開発計画案を改正した。地方議会の議員は、43対3の投票で新計画には北極圏の鉄道路線を含めるべきではないと、決議した。

記事参照：[Lapland Regional Council rejects Arctic railway - ArcticToday](#) (2021.5.17/ARCTIC TODAY)



↑The railway station in Rovaniemi would have been one terminus of the proposed new route. (Atle Staalesen / The Independent Barents Observer)

西シベリアで山火事が発生、ノボシビルスク地域のドライバーは視界ゼロと報告



西シベリアのオムスク郊外では、週末に屋外でバーベキューをしていたためか、枯れた葦の原っぱが炎上した。オムスク地方ではこの春、山火事や乾燥した粗朶（そだ）が燃えて山火事になるケースが「記録的に多い」と報告されており、先週は1日に1,000件近くの新しいケースを数えた。2021年4月26日までに山火事によって焼かれた土地の総面積は15万haに達した。

記事参照：[Wildfire infernos in Western Siberia as drivers in Novosibirsk region report zero visibility \(siberiantimes.com\)](https://www.siberiantimes.com/wildfire-infernos-in-western-siberia-as-drivers-in-novosibirsk-region-report-zero-visibility/)

(2021.4.26/siberiantimes.com)

カナダの連邦予算でヌナブト準州の住宅に2,500万ドルを計上



クリスティア・フリーランド財務大臣は、自由党政権にとって2年ぶりとなる月曜日の予算演説で、ヌナブト州の住宅に2,500万ドルが割り当てられたことを発表した。ヌナブト政府の報告書によると、ヌナブト準州には3,000戸の新規住宅建設が緊急に必要とされている。

記事参照：[Canada's federal budget earmarks \\$25M for housing in Nunavut - ArcticToday](https://arctictoday.com/news/canada-federal-budget-earmarks-25m-for-housing-in-nunavut/)

(2021.4.20/ARCTIC TODAY)

北極圏での大規模な原油流出事故を起こした企業に16億ユーロの罰金を科す



ロシアで2020年に発生した大規模な石油流出事故の責任者であるエネルギー会社が、北極圏への損害賠償として1460億ルーブル（16億ユーロ）を支払うべきだという判決が裁判所から下された。昨年5月の流出事故では、ロシア最北端の都市のひとつであるノリルスク近郊の河川に2万1,000トンのディーゼル燃料が流出した。同社の施設の一つである老朽化した貯水池が崩壊し、その結果、12kmに及ぶ水域に流出したのである。

記事参照：[The company guilty of a massive Arctic oil spill fined €1.6bn | Euronews](https://www.euronews.com/green/2021/02/11/the-company-guilty-of-a-massive-arctic-oil-spill-fined-1.6bn)
(2021.2.11/euronews.green)

カナダの北西航路では、より長距離を航行する船が増えている



北西航路を航行する船舶の数は、2013年から2019年にかけて44%増加し、総距離は2倍以上になったことが、PAMEの新しいレポート（Arctic Council - Report on Shipping in the Northwest Passage Launched (arctic-council.org)）で明らかになった。

記事参照：[More ships are traveling longer distances in Canada's Northwest Passage - ArcticToday](https://arctictoday.com/news/more-ships-are-traveling-longer-distances-in-canada-northwest-passage/) (2021.5.3/ARCTIC TODAY)

グリーンランドで発生する地滑りによる津波は、専門家が当初考えていたよりもはるかに大きなものになる可能性がある



デンマークとグリーンランドの地質調査機関であるGEUSが、地域の住民と津波のリスクについて話し合う一連のタウンホールミーティングに関連して今週発表した新しい試算によると、将来、地すべりを原因とする津波が発生した場合、Nuugatsiaqの海岸線から最大74メートルの高さに達し、村のすべての建物が破壊される可能性があるという。

記事参照：A future landslide-triggered tsunami in Greenland could be a lot bigger than experts first thought - ArcticToday (2021.5.13/ARCTIC TODAY)



↑Members of Denmark's Joint Arctic Command land in Nuugaatsiaq after a tsunami devastated the village (Palle Lauritsen / Joint Arctic Command)

北極圏の環境責任を測る新しい指標をめぐる、鉱業会社から相反する反応が寄せられる



LNSとStore Norskeは、環境責任を測る新しい指標において、120社中40位と81位にランクインした。LNSグループのCEOであるFrode Nilsen氏はこの指標に懐疑的であるが、Store Norske社のHSEQマネージャーであるスヴェツレ・クヴァル Heim氏は、この指標が業界にポジティブな変化をもたらすと考えている。

記事参照：Conflicting Reactions From Mining Companies Over New Arctic Environmental Responsibility Index (highnorthnews.com) (2021.5.5/High North News)

アラスカ北西部の村、バックランドが氷結により浸水



アラスカ北西部のコミュニティであるバックランド付近で、春の温暖化による氷塊が発生し、木曜日には村の大部分が水没し、住民は避難の準備をすることになった。副市長であるネイサン・ハドリー・ジュニア氏によると、バックランド市と地元の先住民評議会は、ボートで地域住民を支援するためにボランティアと調整しているという。

記事参照：Northwest Alaska village of Buckland floods due to ice jam - Alaska Public Media (2021.5.13/Alaska Public Media)

